

高松市の道路管理

～ボランティアの手で身近な道をきれいに、「たかまつマイロード」～

高松市 都市整備局 道路課

1. はじめに

高松市は、多島美を誇る波静かな瀬戸内海に面し、これまで、人々の暮らしや経済・文化など様々な面において、瀬戸内海との深いかかわりの中で、県都として、また、四国の中枢管理都市として発展を続けてきた、海に開かれた都市です。

気候は、年間を通して寒暖の差が小さく、降水量の少ないのが特色です。

高松市の道路についてですが、平成 25 年 3 月末日現在、管理延長は約 2,400km、橋梁は約 1,500 橋を抱え、舗装率は約 96%、改良率は約 63%となっており、全国の市町村道のそれぞれの平均値約 78%、約 57%と比べ、高い値となっております。

他方、道路の維持管理については、常に安全・安心な状態や、美しい道路環境の確保が求められており、道路管理者として路面や雨水桝の清掃などを定期的に行い、良好な環境と安全な道路空間の確保に努めておりますが、限られた予算・人材では、十分な対応とはいえない状況となっております。



○人口	420,714 人 (平成 25 年 8 月 1 日)
○面積	375.17 km ² (同上)
○世帯数	179,483 世帯 (同上)
○合併	塩江町 (平成 17 年 9 月 26 日) 庵治・牟礼・香川・香南・国分寺町 (平成 18 年 1 月 10 日)



2. ボランティアサポート事業のはじまり

市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進める「アダプト・プログラム」は、1985年に、ハイウェイ網が発達している米国のテキサス州運輸局において導入されたのが始まりです。

「自分たちの使うみちは、自分たちの手できれいにする」聞けば当たり前のことのようにですが、継続的に実践することは、簡単なことではありません。

また、町内会などで道路清掃活動をしている例はあっても、その活動はあくまで個々のもので、横の広がりを持つものではありませんでした。

ところが近年、地域全体で継続的に「ボランティアによるみちの清掃」に取り組む自治体が増えており、今回御紹介します高松市の「たかまつマイロード」も、同様な活動の一つです。

3. 「たかまつマイロード」事業

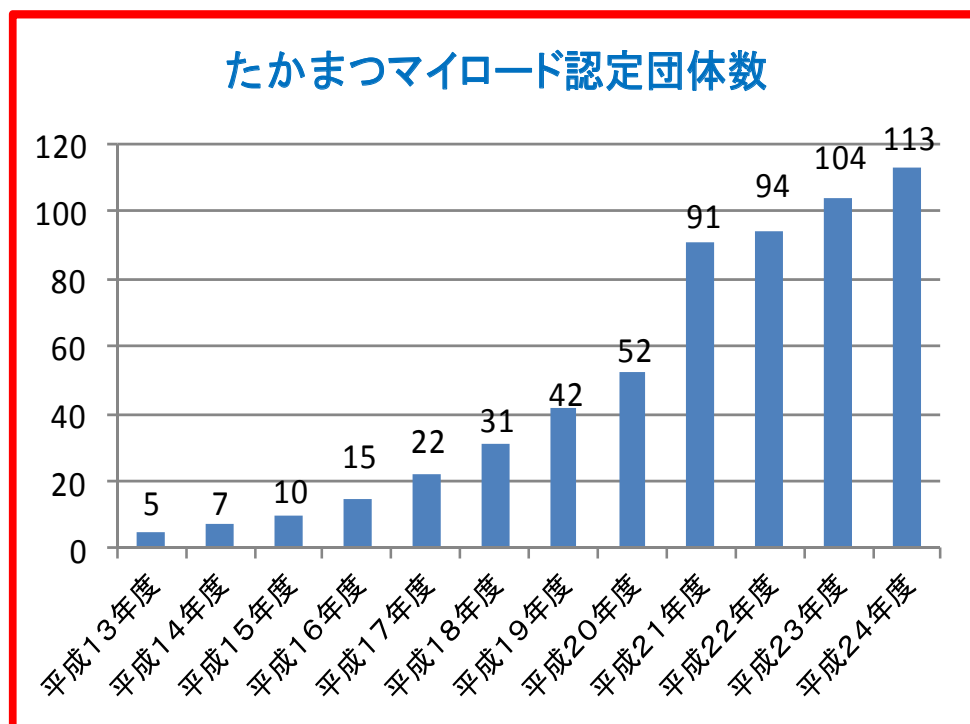
「たかまつマイロード」は、市道の維持・管理を地域の皆さんと協働して行うという取り組みです。

この事業により、道路の環境美化および道路への愛護意識への高揚を図るとともに、道路利用者のマナー向上を啓発するものです。

活動の内容は、概ね500m以上の市道において年間4回以上、道路や側溝の清掃、草刈りなどを行うものであり、活動団体は、町内会・自治会・商工会等の地域住民団体、企業またはその従業員団体、児童・生徒と保護者の団体などです。

平成13年度に5団体を認定して以来、認定団体は年々増え続け、平成24年度末では113団体が、それぞれの地域で清掃活動を行っています。【表1】

【表1】



高松市としては、道路上での活動のため傷害保険への加入や、参加団体に清掃用具・ゴミ袋の提供、安全ベスト・立て看板等の貸与を行っています。【写真1・2】



【写真1】



【写真2】

また、「たかまつマイロード」に認定した区間の歩道などに、制度や活動団体の名称、活動内容を記入したサインボードを設置しています。【写真3】

その他、道路ふれあい月間（毎年8月）の行事の一環として、道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に関し、特に著しい功績のあった団体や個人に対して、国土交通大臣が感謝状等を授与するもので、平成25年度には、「たかまつマイロード」の1団体が受賞されました。【写真4】



【写真3】





【写真4】

4. おわりに

「たかまつマイロード」に参加する団体は初年度から増え続け、その殆どが継続して清掃活動を行っています。

高松市は各団体に対し、清掃用具の支給など、活動を側面から支援する立場で、あまり細々とした規制を作らないようにしており、「それぞれができることを地域の人と協力して続けること」、これがこの活動の成功の秘訣なのではないかと思っています。

多くの人が忘れがちな「みち」の存在ですが、こうして「自分たちのもの」として手をかけていくことで、その大切さが分かっていくのではないのでしょうか。

季節的に集中するので特にそう思うものかも知れませんが、今年も草刈の要望・苦情は相変わらず多く、「見通しが悪く事故が発生したら誰が責任をとるのか」などお叱りを受けることがあります。

限られた予算・人材では、市民の皆様の要望にお答えすることは難しく、「たかまつマイロード」の取組みは必要不可欠となっています。

今後とも、「たかまつマイロード」に参加をしていただきやすい仕組みづくり、地域の活動団体への働きかけを行い、道路管理に努めてまいりたいと思っております。